

June 9, 2010

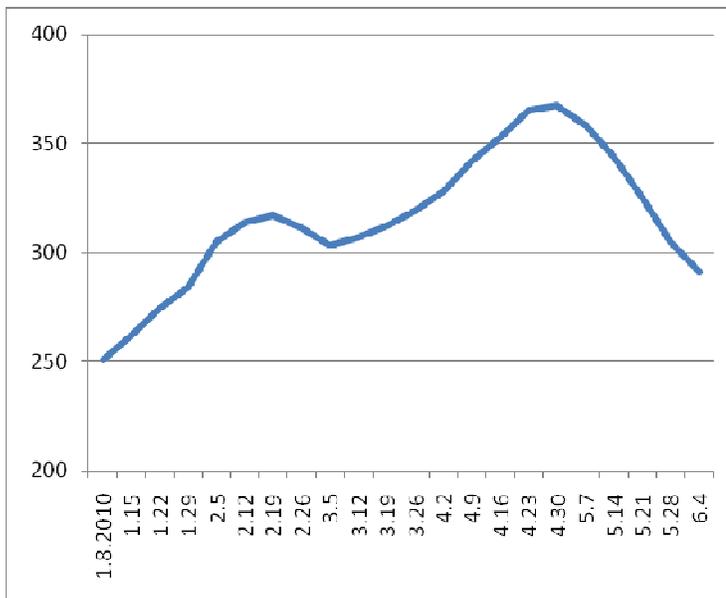
JAWIC

# Seattle News

## 急降下の木材価格

年頭から4月末にかけて急騰した木材価格が一転して急落している。ランダムレングス社の針葉樹製材総合価格を見ると、4月末に367ドル/1000BMまで上昇したが、6月始めには291ドルとなっている(図)。6月はBC州およびアルバータ州が米加針葉樹協定(表)の規定により輸出税ゼロとなったので、大量の出荷があるものと予想されている。このため、買い方はまだ下がるかもしれないと様子見を決めこんでいる。7月は価格低下を反映して輸出税は10%となることが確定しており、8月は再び15%になる公算大である。北米の製材工場の中には再び操短に踏み切るところが出てきた。なお、構造用パネル(OSBおよび針葉樹合板)価格も同様に1ヵ月で約30%下げている。

図：ランダムレングス社針葉樹製材総合価格(ドル/1000BM)



表：2006 年米加針葉樹協定の内容

価格（\$/1000BM）	オプション A	オプション B
>355	制約なし	制約なし
336 - 355	輸出税 5%	輸出税 2.5%、かつ米国消費量 34% $\times$ 州割当シェアが限度
316 - 335	輸出税 10%	輸出税 3%、かつ米国消費量 32% $\times$ 州割当シェアが限度
<315	輸出税 15%	輸出税 5%、かつ米国消費量 30% $\times$ 州割当シェアが限度

注 1：オプション A には洪水的輸出防止措置（サージメカニズム）が付いている。

注 2：価格とはランダムレングス社が発表している針葉樹製材品総合価格

注 3：オプション A を採用したのは BC およびアルバータ州、オプション B 採用州はオンタリオ、ケベック、マニトバおよびサスカチュワン。沿海州（プリンスエドワード、ニューブランズウィック、ノヴァスコシア、ニューファウンドランド）は協定適用外。また、特定企業でも協定適用外になっているのがある。